

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	都市整備部都市計画課		■担当係	住宅政策係
■評価事業名称	柏野住宅団地分譲事業			
■事業開始年度	平成1年度			
■評価事業コード	070400 - 206	■会計区分	宅地造成特別会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	01 快適な居住環境の形成		
	■施策	01 快適な住環境の整備		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市総合計画			
■事業の目的と概要	廉価で優良な住宅地の提供。第2柏野住宅団地(分譲62区画:残り4区画)、第3柏野住宅団地(分譲94区画:残り71区画)			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	第2柏野住宅団地分譲事業	宅地購入希望者	分譲地区画管理、販売PR、登記事務、販売1区画2,510千円	分譲地区画管理、販売PR、販売0区画
02	第3柏野住宅団地分譲事業	宅地購入希望者	分譲地区画管理、販売PR、登記事務、販売1区画3,300千円	分譲地区画管理、販売PR、販売0区画

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	922	508	1,185	506	
人件費	751	76	2,459	610	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,673	584	3,644	1,116	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	第3柏野住宅団地分譲事業	1区画	0区画	0区画	0区画	販売区画数
02	第2柏野住宅団地分譲事業	0区画	0区画	1区画	0区画	販売区画数

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

第3柏野住宅団地に広大な売れ残り区画あり。

問題点・課題等

販売方法の変更などの検討を要する。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

開発行為の予定建築物を「一戸建て住宅」から事務所や集合住宅も可となるよう変更することで、販売を促進する。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了